

① 県内読書環境の整備

平成21年9月末現在

■県内図書館職員の人材養成に重視し「人的支援」に軸足を移した。

事業目標		年次・年度						備考
		0年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
a. 当事業に係る基盤（インフラ）整備・環境醸成		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1	物流システムを整備する	実施	実施	→	効果検証			
2	事業の目的達成に必要なIT環境を整備する		メルマガの発行とMLの開設	→	効果検証			メルマガ、メーリングリストの開設には至っていないが、子ども読書活動推進支援員の相談やレファレンスにメールで応じたり、こちらから情報提供を個々に行った。また、県庁の全庁向けメールの内容を県政との関連で読むことができるものに改善した。
3	県内図書館職員の研修を進める	実施		→	効果検証			高知県図書館協会との連携による「県外図書館研修派遣事業」で今年度は宿毛市立坂本図書館の職員を著作権実務講習及び岡山市立幸町図書館視察に派遣。その成果を第37回高知県図書館大会で報告してもらい、県内図書館職員で共有した。
4	事業の目的達成に必要な啓発活動を実施する	実施		→	効果検証			NHK「高知情報BOX」「のほほんBooks」のコーナーで季節にかかったテーマで県立図書館の本を紹介し、図書館利用や読書を促している。
5	県内図書館への協レファレンス体制を整備する	対応		→	効果検証			以前は文書により対応していた協レファレンスを、電話でも気軽に問い合わせてもらっている。県立図書館のしきいが高い感じを取り払いたい。
6	県内図書館利用者のリクエストとそれに伴う相互貸借を活発化させる	実施	実施	→	効果検証			来館者に対しては、リクエストができることを積極的に伝えているが、今後、マスコミ等を活用したい。
b. 当事業の目的達成する方法		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1	移動図書館を巡回させる	実施	実施	実施	→			4月より委託業務となったが、実施状況も問題なく、良行である。
2	県内図書館に対し、物流システムを活用して読書環境整備に係る事業を実施する	実施	実施	→	効果検証			「健康づくり」に関してブックリストを作成、ホームページに掲載するとともに、パッケージ化して希望する県内市町村図書館等で巡回した。その他、館内展示した本を適宜、パッケージ化して貸出している。
3	「対面音訳」とともにその他の障がい者サービスにも取り組む		実施	→	効果検証			移動図書館バスの広告料収入を経費に充当して実施している「宅配貸出サービス」の登録者数は19人、貸出冊数は9月末現在で173冊で20年度同期（143冊）よりも伸びてきている。
4	重点的に支援する市町村を設定し、物的・人的支援を傾斜配分する	実施	いの・安芸中間評価		室戸中間評価			21年度前半は県内の図書館、図書室の現状把握に巡回した。要請支援に応じて図書館、図書室を9月末現在で計27回（学校4回含む）の人的支援をした。
5	学校図書館（室）を支援する	調査研究	実施	→	効果検証			学校からの要望に応じ、読み聞かせやブックトークの実地指導を行うとともに、学校図書館の運営やレイアウトの相談にのった。
c. 当事業遂行のための環境醸成		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1	資料展示、その他の関連事業を実施する	実施		→	効果検証			時事的なテーマ、健康、就職などニーズの高いテーマについて展示を行い、市町村立図書館等に展示したものをパッケージ化して貸出した。NHK「龍馬伝」の放映を見越して、龍馬に関する展示を掘り下げて行っている。また、相互交換観光展示を新宿区と鎌倉市で行った。
2	事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める		実施	→	効果検証			21年度も、県外の先進図書館などに県立図書館職員を派遣し実地研修させる予定である。
3	関連機関との連携	実施		→	効果検証			高知県図書館協会との連携による「県外図書館研修派遣事業」を今年度すでに実施。その成果を第37回高知県図書館大会で報告してもらい県内図書館職員で共有した。
総評	①市町村支援は「人的支援」に軸足を移す。また、市町村支援をしていることを積極的にPRしていく。 ②その中で県協会の「県外図書館研修派遣事業」は、職員数の少ない市町村立図書館職員でも参加できるよう対策を考える。 ③企画展示の貸出を希望する市町村立図書館等が増えるなど、来館者へのサービスと市町村支援の「循環」が生まれている。							

② 地域活性化支援

■「龍馬伝」を視野に「相互交換観光展示」に力を入れている。

事業目標		年次・年度						備考
		0年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
a - 1. 当事業の目的を達成する方法 (商工・観光業・地場産業支援)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1	商工・観光業・地場産業等に携わっている人の資料・情報ニーズを調査する		取り組み開始					
2	商工・観光業・地場産業等に携わっている人の必要とする資料・情報を収集し提供する	未実施	弱い面を強化		効果検証			観光及び観光学、地域づくりについて、必要と考えられる資料をリストアップし、22年度の資料費要求に盛り込んでいる。
3	上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを行なう	実施			効果検証			特に、まちづくりとグリーンツーリズム等地域特性に応じたものに目を配る。
4	商工・観光業・地場産業等に携わっている人の仕事の参考になるセミナー・講演会を開催する	実施			効果検証			特に、まちづくりとグリーンツーリズム等地域特性に応じたものに目を配る。
a - 2. 当事業の目的を達成する方法 (人づくり)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1	人づくりに関する事業を企画・立案し、実施する	未実施	企画立案・実施					
2	人づくりに必要な資料・情報・その提供方法を検討し、実施する	未実施	企画立案・実施					
a - 3. 当事業の目的を達成する方法 (当事業に関連するPR)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1	県内の商業施設や観光スポットを紹介したパンフレットを収集し館内で配布する	実施	実施	効果検証				
2	地場産品のPRパンフレットを収集し館内で配布する	実施	実施	効果検証				
b. 当事業遂行のための環境醸成		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1	事業の目的達成に必要なIT環境を整備する	実施					効果検証	
2	資料展示、その他の関連事業を実施する	実施	実施		効果検証			「龍馬伝」関連、郷土、観光、時事、県政課題、他機関等との連携、子どもの本等各種の展示を行った。
3	関連機関の支援	実施	実施		効果検証			引き続き(財)高知県観光コンベンション協会を応援していく。
4	事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める	実施		実施				ビジネスライブラリアン講習会に派遣予定。
5	関連機関との連携	実施				効果検証		NHK「龍馬伝」放映を見越して、「こうちミュージアム・ネットワーク」参加館等の協力を得て展示を行っている。また、それらの文化施設への誘客も図る展示内容としている。全国の図書館と協力して、相互交換観光展示を実施している。仁淀川町の武田勝頼キャラクター候補の展示・投票を行った。
総評	①最小の経費で効果的な観光PRが可能な「相互交換観光展示」の利点を広く周知し、県外に配布するパンフ等を増やす。 ②ニーズ調査については、新館建設に向けたアンケート調査の中に組み込むことも考えたい。 ③資料費が少ないと効果を十分に発揮できないので、増額を生涯学習課等関係方面に働きかけている。							

③ 政策立案支援

■県・市町村の職員に図書館資料を活用してもらうことを重視している段階である。

事業目標	年次・年度						備考
	0年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
a. 当事業の目的を達成する方法	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
1 世の中の動きを常にウォッチしておく	実施						新型インフルエンザ対策の展示及びブックリストの作成を行った。また、県政の課題に対応して、健康づくりや就職・就業を支援する展示及びブックリストの作成を行った。22年度に向けて、県政の大きな課題である産業振興や安全・安心の確保、学力向上・子ども読書活動推進の資料を整備する計画を立てた。
2 半歩先を読んだ資料収集を心がける		実施			効果検証		
3 半歩先読みのブックリスト作成で役立つ資料を提供していく		実施			効果検証		
b. 当事業遂行のための環境醸成	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する		実施			効果検証		さらに必要なデータベースについてトライアルに参加し調査している。また、高知新聞のデータベース導入に取り組んでいる。
2 資料展示、その他の関連事業を実施する	実施			効果検証			新型インフルエンザ関連展示で事業所での対策も視野に入れた。また、産業振興計画に関連する展示を行った。
3 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める		随時実施					予算措置がなくても可能なものは随時始める。
総評	①ある部の副部長が仕事上必要な資料を探しに来たこともある。以前よりは県・市町村職員の利用増を実感している。 ②県・市町村職員に県立図書館を利用してもらうことを通して少しでも仕事のお手伝いできたらと考えている。 ③ここでも資料費増額は課題。生涯学習課等関係方面に働きかけている。						

④ 起業・創業支援

■まずは資料の充実を図る。セミナー等、集会事業のあり方を再検討した。

事業目標	年次・年度						備考
	0年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
a - 1. 当事業の目的を達成する方法(起業・創業支援)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
1 県内の起業・創業の動向を調査する		調査研究					20年度に実施した「創業支援セミナー」で受講者にアンケート調査を行った結果、「広告」「宣伝」に関する資料・情報ニーズが高いことがわかったので、その分野だけでなく、それまで不足していた関連するデザインやITの本を意識して選択している。
2 県内で起業・創業を考えている人の資料・情報ニーズを調査する		実施					
3 県内で起業・創業を考えている人の必要とする資料・情報を収集し提供する		実施					
4 上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを行なう		調査研究					
5 県内で起業・創業を考えている人の参考となるセミナー・講演会を開催する	実施			効果検証			
a - 2. 当事業の目的を達成する方法(経済・起業教育)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1 小中高校生を対象として経済教育等の講座を開催する	実施	実施予定		効果検証			図書館資料を活用し、社会教育施設としての図書館の設置目的に沿いつつ、相乗効果を生み出すような事業の在り方を検討して実施する。
2 県内大学生を対象とした講座を企画する		調査研究	実施		効果検証		
b. 当事業遂行のための環境醸成	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する		実施				効果検証	さらに必要なデータベースについてトライアルに参加し調査している。また、高知新聞のデータベース導入に取り組んでいる。
2 資料展示、その他の関連事業を実施する		実施				効果検証	就職・就業支援の展示の中で起業関係の図書も入れるとともに、新制度になった情報処理試験についての展示も行った。
3 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める	実施		実施			効果検証	ビジネスライブラリアン講習会に派遣予定。
4 関連機関との連携		実施予定	実施				「経営革新フォーラム」で展示予定。
総評	①資料費が乏しい現状では、優先順位を決めて重点購入し蔵書を構築していくしかない。 ②ニーズ調査は、新館建設に向けたアンケート調査の中に組み込むことも考えたい。 ③集会事業は、図書館の設置目的に沿って図書資料や図書館の活用と結び付くような構成を心がけていく。						

⑤ 若者就業支援

■関連機関と連携し、就職・資格取得に役立つ資料の収集と提供に努めた。

事業目標	年次・年度						備考
	0年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
a. 当事業の目的を達成する方法	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
1 県内の若者就業の実態を調査する	調査研究	実施			効果検証		マスコミ報道等を参考にしている
2 支援対象者の資料・情報ニーズを調査する	調査研究	ジョブコーナー充実			効果検証		「ジョブカフェこうち」と協働して、アンケート用紙を置かせてもらうなどして県立図書館への資料・情報ニーズを調査できないか検討する。
3 支援対象者の必要とする資料・情報を提供する	一部実施	実施			効果検証		「ジョブカフェこうち」発行の無料就職情報誌『明日』のほか、就職情報を配布している。また、派遣村発行のパンフレットも取り寄せ、配布した。
4 上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを提供する		調査研究					資格取得関連の図書を新しく購入している。
5 支援対象者の参考となるセミナー・講演会を開催する	調査研究	未実施			効果検証		就職状況がさらに厳しくなっているため、21年度も「就活支援セミナー」を開催したい。
b. 当事業遂行のための環境醸成	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する	実施				効果検証		さらに必要なデータベースについてトライアルに参加し調査している。また、高知新聞のデータベース導入に取り組んでいる。
2 資料展示、その他の関連事業を実施する	実施	実施			効果検証		企画展示「広がる未来への雇用不安 自己研鑽で働く場の確保を！」を5月から実施している。雇用情勢や就職環境の推移などをウオッチしつつ、関係機関とも連携しながら。随時、追加の展示を実施していきたい。
3 関連機関の支援、関連機関との連携		実施			効果検証		雇用労働政策課や「ジョブカフェこうち」と連携・協力して、県民の皆様への確かな資料・情報提供を行ってきたい。また、スキルアップや就職に有利な資格取得に役立つ図書の提供も積極的に行ってきたい。
4 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究		予算措置がなくても可能なものは随時始める
総評	①米国では失業者が図書館で職探しをしているとの新聞報道以来、館内のパソコンで求人情報を探す人が目立ち始めた。 ②雇用労働政策課の「高知しごとネット」の利用も呼びかけている。 ③県立図書館が「就職や資格取得のために必要な資料・情報が豊富にあるところ」であるためにも資料費増額を実現したい。						

⑥ 健康生活支援

■健康情報サービス担当の司書が資料展示を企画し、それと連動した資料リストを作成した。

事業目標	年次・年度						備考
	0年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
a. 当事業の目的を達成する方法	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
1 図書館による健康情報提供を目指す専門団体から情報収集しサービス内容を検討する	実施			効果検証			21年度、初めて健康情報サービス担当職員を配置した。展示とともにブックリストを逐次作成し、ウェブサイトも開設した。研修については、東京で行われている日本病院患者図書館協会の「患者図書館養成講座」に、休日を利用しての自主参加だった。研修経費の予算確保が課題である。
2 上記検討により支援対象と範囲を確定し情報ニーズを調査する	実施			効果検証			
3 支援対象者の必要とする資料・情報を提供する	実施			効果検証			
4 上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを行なう	実施			効果検証			
5 支援対象者の参考となるセミナー・講演会を開催する	調査研究	実施		効果検証			
b. 当事業遂行のための環境醸成	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する	リンク集作成済			効果検証			健康情報サービスのウェブサイトを開設した。
2 資料展示、その他の関連事業を実施する	実施			効果検証			新型インフルエンザ関係のほか、健康づくりの展示をした。また、メンタルヘルス、高齢者のためのものにも取り組む。
3 関連機関の支援	実施			効果検証			企画展示等で障害福祉課・健康づくり課を支援している
4 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める	実施			効果検証			担当職員は自主的に外部研修に参加しているが、来年度予算においては研修経費の確保が課題である。
5 関連機関との連携	実施			効果検証			医療センター「なるほどライブラリー」と引き続き連携していく。
総評	①健康生活支援には、常に正確で新鮮な情報とそれを活用したレファレンスができる司書が不可欠。 ②それには、資料費増額や0になっている研修経費の予算復活が必要で、生涯学習課等関係方面に働きかけている。 ③新型インフルエンザ関連の展示を行ったり、関連図書をセット本にして市町村支援に回すなど機敏な対応も心がけた。						

⑦ 郷土・行政資料の整備・充実と利用促進

■「龍馬伝」を視野に入れ、龍馬関係の資料は網羅的に収集。「相互交換観光展示」も実施した。

事業目標		年次・年度						備考
		0年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
a. 当事業の目的を達成する方法		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1	郷土・行政資料の収集ルートの確立とそれに即した収集を実施する	調査研究	実施			効果検証		
2	収集した郷土・行政資料の保存・提供方法を確立する	調査研究	実施			効果検証		郷土の作家の小説などは郷土資料コーナーから一般開架に移動させた。
3	上記に即したデータ整備方法を確立する	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究		調査研究中
4	他事業との関連付けによる郷土・行政資料のPRと利用促進のための事業を実施する		実施			効果検証		『土佐國群書類従』販売促進のために当館職員が5月に講演会を実施した。また、平成22年放送開始のNHK大河ドラマ「龍馬伝」に関連した展示を行っている。交換観光展示においても、新宿区の展示で寺田寅彦を扱うなど高知との接点を見いだせるようにした。
b. 当事業遂行のための環境醸成		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
1	事業の目的達成に必要なIT環境を整備する	対応						全庁メールでの郷土・行政資料収集のアピールをした。
2	資料展示、その他の関連事業を実施する	実施			効果検証			NHK大河ドラマ「龍馬伝」関連の企画展示を「展示の広場」で実施している。
3	関連機関との連携事業の実施	実施			効果検証			今年度も引き続き「高知城友の会」や「こうちミュージアムネットワーク」参加館と連携事業を実施している。来年度「龍馬伝」関連事業で「こうちミュージアムネットワーク」と連携を強化していく。
4	関連機関の支援	実施			効果検証			NHK大河ドラマ「龍馬伝」に関する取り組みでは、関連文化機関を「展示の広場」での企画展示や「相互交換観光展示」等で支援している。
5	事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める	実施			効果検証			県立図書館の周囲にある史跡を郷土資料担当職員が他の職員に解説することで館内研修を実施している。
6	関連機関との連携	実施			効果検証			「龍馬伝」終了後も「相互交換観光展示」等で継続的に支援・連携していく。
総評	①郷土資料の利用を活発にするために、郷土の作家が書いた小説などは一般開架に配架することにした。 ②「龍馬伝」の放送開始に向け、関連文化施設と連携し県立図書館の郷土資料を生かした取り組みを4月から開始。 ③「相互交換観光展示」は図書館ネットワークを生かした取り組み。現在、これからの連携先と打ち合わせを進めている。							

平成21年度上半期に取り組んだこと

① 県内読書環境の整備

■県内図書館職員の人材養成に重視し「人的支援」に軸足を移した。

- (1) 図書館未設置地域に配置された子ども読書活動支援員に対し、県立図書館にて研修を実施。(6月)
- (2) 研修に引き続き、子ども読書活動支援員をフォローするため訪問を開始。(6～8月)
- (3) 「県外図書館研修派遣事業」を本格的に実施。宿毛市立図書館の職員を派遣。(9月初旬)

② 地域活性化支援

■「龍馬伝」を視野に「相互交換観光展示」に力を入れている。

- (1) 「龍馬伝」放送開始を視野に入れ、新宿区、鎌倉市の図書館と「相互交換観光展示」を実施。
- (2) 上記(1)に加え、ミュージアム・ネットワーク参加館等の協力を得て展示を実施。
- (3) 「龍馬伝」など観光振興以外にも「産業振興計画」等、県政課題に関しての展示を実施。

③ 政策立案支援

■県・市町村の職員に図書館資料を活用してもらうことを重視している段階である。

- (1) 新型インフルの流行や厳しい雇用情勢等、県政課題に即した資料展示やブックリストの作成。
- (2) 高知新聞のデータベースが導入できるように準備。
- (3) その他のデータベースについてもトライアルに参加。

④ 起業・創業支援

■まずは資料の充実を図る。セミナー等、集会事業のあり方を再検討した。

- (1) 「創業支援セミナー」のアンケート結果から、「広告」「宣伝」等の資料を意識して選択。
- (2) 新制度になった情報処理試験に関する資料展示を実施。
- (3) セミナー等は、図書館資料の活用を重視した相乗効果を生むような在り方を検討。

⑤ 若者就業支援

■関連機関と連携し、就職・資格取得に役立つ資料の収集と提供に努めた。

- (1) 無料の求人情報誌だけでなく、「派遣村」発行のパンフレットも取り寄せて配布。
- (2) 資格取得関係の図書を新たに購入し、利用に供している。
- (3) 企画展示「広がる未来への雇用不安 自己研鑽で働く場の確保を！」を5月に実施。

⑥ 健康生活支援

■健康情報サービス担当の司書が資料展示を企画し、それと連動した資料リストを作成した。

- (1) 健康情報サービス担当の司書を初めて配置。
- (2) 上記司書が、資料展示を実施し、ブックリスト作成、ウェブサイトの開設を担当した。
- (3) 企画展示等で障害福祉課・健康づくり課と連携し、支援している。

⑦ 郷土・行政資料の整備・充実と利用促進

■「龍馬伝」を視野に入れ、龍馬関係の資料は網羅的に収集。「相互交換観光展示」も実施した。

- (1) 郷土の作家の小説などは郷土資料コーナーから一般開架に移動。
- (2) 『土佐國群書類従』販売促進のために郷土資料担当職員が5月に講演会を実施。
- (3) 「龍馬伝」に関連した展示を実施中。